

いわちゃん ポスト

千葉県議会議員



1970 年生まれ 県立君津高、専修大卒
早稲田大学院 政治学研究科修了

自らの生い立ちから、障害者の困窮する生活ぶりを多く目の当たりにしてきたことが、政治を目指すきっかけに。朝の駅頭活動、街頭活動とともに、ゴミ拾い活動も続けています。

事務所連絡先 Fax : **0476-36-7802**

HP : <http://www.iwai-y.jp>

メール : mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前)



twitter



blog



facebook

県公立高入試 採点誤り問題 マークシート導入など改革へ

今年2月に実施された県公立高入試において、98校で933件が発覚した採点誤り。県教委が再発防止策を発表する一方、全受験者への答案写しの返却の実現が求められます。

●前年度分でも4校中3校40件の誤り

問題発覚のきっかけとなったのが、県立小金高校受検者による自己情報開示請求です。同校で当該受検者の答案を確認したところ、採点誤りがあったことが判明し、さらに他受検者についても再点検したところ、複数教科で複数名にわたる採点誤りが発覚。これを受け、県内全受検者の答案を一斉点検を実施したところ、県立高校 120校中 92校 870件、市立高校 7校中 6校 63件の採点誤りが明らかとなったのです。

県立津田沼高校 (2名)、県立松戸高校 (1名)、県立成田北高校 (1名) など計5校 6名の受検者については、本来合格とすべき受検者を不合格としていたこと、保管していた令和4年度学力検査の答案についても、4校中3校40件の採点誤りが確認され、令和4年度以前の入学者選抜学力検査においても多くの採点誤りがあったと推察されることは特に重大です。

なお、本来合格とすべきところ不合格としていた受検生については、それぞれ謝罪した上、入学許可となったとしています。

●マークシート式問題導入など改善策

県は採点誤りの原因として、限られた時間の中での焦り、長時間続けての採点業務による疲労、採点のみに集中できない状況による採点者の集中力や意識の低下、解答用紙に小問の得点記入欄が設けられていなかったことを挙げ、構造的な問題があったことを認めています。

6年度県公立高入試の改善策

1	マークシート式	学力検査問題の解答方法は、記述式とマークシート式の併用型とする。
2	デジタル採点	記述式部分については各受検者の答案をスキャンした上で、別の採点者がそれぞれ採点を行って確認する。
3	答案の点検	合否のボーダーライン付近の受検者について答案を点検する。
4	臨時休業日	採点・点検を行うための臨時休業日を設定する。
5	同一方法で	採点・点検は、原則として全ての学校において同一方法で行う。

その上で、マークシート式学力検査問題の採用、合否ボーダーライン付近の答案点検の実施、採点・点検を行うための臨時休業日の追加設定などの改善策を発表しています。

●全受検者に答案写しデータの返却を

採点誤りを発見するための最も効果的な方法は、自身の答案を見て確認することです。しかし、学力検査の「点数」は、簡易な手続きにより請求した当日に知ることができる一方、「答案自体」を確認するためには複雑な手続きが必要です。

令和6年度入試からは各受検者の答案をスキャンし採点することとなるため、答案写しのデータを受検者に返却することがより容易となります。9月県議会本会議ではこの点を指摘した上で、県公立高入試学力検査において、全受検者に答案写しを返却することについて強く要望いたしました。

高校入試の結果は、受検者の人生を大きく左右するほどの大きな影響を与えるものであり、採点誤りが発生することがないように、引き続き対策を求めています。

県公立高入試で 多数の採点誤り

